

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）



平成18年2月10日

上場会社名 株式会社 な と り
(URL <http://www.natori.co.jp/>)

(コード番号：2922 東証第一部)

問合せ先 代表者 代表取締役社長 名取 三郎
責任者 経理部長 小林 眞

(TEL:(03)-5390-8111)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用有無 : 有
(法人税等の計上基準)
法定実効税率をベースとした計算を行っております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
・連結(新規)2社 (除外)3社 ・持分法(除外)1社

2. 平成18年3月期第3四半期の業績概況(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	24,338	(1.7)	1,176	(0.7)	1,227	(2.0)	692	(9.1)
17年3月期第3四半期	23,929	(4.0)	1,185	(10.9)	1,203	(9.1)	634	(8.6)
(参考)17年3月期	30,805	(3.6)	1,062	(2.7)	1,084	(7.1)	669	(21.4)

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	49	78	44	62
17年3月期第3四半期	46	76	40	87
(参考)17年3月期	48	62	42	61

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況 (金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	25,964	12,951	49.9	930 49
17年3月期第3四半期	25,913	12,012	46.4	882 88
(参考)17年3月期	23,888	12,274	51.4	881 30

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	481	39	262	309
17年3月期第3四半期	1,276	371	1,212	522
(参考)17年3月期	2,592	363	1,965	1,092

経営成績（連結）の進捗状況

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の増加が一段と進み、景気は緩やかに回復を続けたものの、一方で原油価格の高騰や税・社会保障費の負担増への懸念が不安材料として残っており、個人消費の本格的な回復については依然不透明な状況のもと推移いたしました。

加工食品業界・小売業界におきましても、企業間競争の激化や商品価格の下落傾向、原材料価格の高止まり等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、なとりグループは、売上高につきましては、畜肉加工品、酪農加工品等の増加により前年同期比増収で推移いたしました。利益面につきましては、原材料高の影響により売上総利益率が低下したものの、販売費及び一般管理費におけるコスト削減の効果等により、経常利益は前年同期比増益となりました。

当社グループは「常に満足していただけるおつまみを提供することで、お客様の笑顔がある、楽しくて豊かな食シーンを創造すること」をミッションとして掲げ、中期経営計画「チャレンジ to 60」を通じ、「おつまみ」の真のNo.1企業を目指し、グループを挙げて諸施策に取り組んでおります。

当社グループは経営目標として既存事業への経営資源の集中を図りつつ、新たな「おつまみ市場」の創出に努めております。その中核となる新商品開発につきましては、いかを中心に価格競争が激化するなか競合先に対抗できる「価格訴求」と、プレミアム性の高い「価値訴求」の二方面にそれぞれ対応することを軸とした商品戦略を展開しております。当第3四半期におきましては、デンマーク産原料のみを使用し素材の味を生かしたこだわりのおつまみ「贅沢粗挽きサラミ」「濃厚チーズ鱈」「すき焼き」の割下を使用してまるやかに仕上げた「すき焼きビーフジャーキー」等の新商品を発売し、従来の珍味売場の充実を図りました。一方、珍味売場以外へのカテゴリ拡大として、素材菓子では「梅スッキリ種ぬき甘口ボトル」、ナチュラル素材シリーズを発売、小物菓子では「スタミナカルパスガーリック味」等を発売いたしました。また、拡大する「中食」市場への対応として、「乾き珍味」に次ぐ第二の柱に育てるべく取り組んでおります「チルドおつまみ」につきましては、「豚トロ肉の塩だれ焼き」等の新商品を発売いたしました。

コスト戦略の一環として、既に「茎わかめ」は全量生産を中国へ移管、「いか」につきましては中国での加工度引き上げを実施いたしております。今後はコスト削減効果や中国リスク、商品戦略等を勘案しながら、加工品目の拡大等を随時検討してまいります。

当社グループはコンプライアンスを重視した事業活動とコーポレート・ガバナンスのより良い体制づくりについて地道な検討と整備に努めております。特に、品質管理体制の強化については日頃より注力しており、「商品クレームの撲滅」を目標に、食品の安心・安全性の確保と品質管理の徹底に努めております。

これらの諸施策の結果、当第3四半期の売上高は243億38百万円（前年同期比1.7%増）となり、製品群別売上高の状況は、水産加工品142億5百万円（同0.0%増）、畜肉加工品36億70百万円（同3.2%増）、酪農加工品23億91百万円（同24.8%増）、農産加工品20億92百万円（同8.3%減）、惣菜品ほか19億

77百万円(同0.4%増)となりました。内訳としまして、水産加工品では低粗利である「いか」の一次加工品の売上が削減した一方で、ソフトいか燻製、帆立貝柱、茎わかめ等が堅調に推移し微増、畜肉加工品、酪農加工品は新商品の投入が大きく寄与し増収、農産加工品は梅製品の売上が好調だったものの、ドライフルーツや売上が一巡いたしました栗製品が伸び悩み減収、惣菜品ほかでは、洋風惣菜を扱う子会社株式会社なとりデリカの増収により微増となっております。

利益面につきましては、売上総利益78億84百万円(前年同期比0.9%減)となりましたが、ローコストオペレーションによるコスト削減に注力し、販売費及び一般管理費は67億7百万円(同0.9%減)、その結果営業利益は11億76百万円(同0.7%減)、経常利益12億27百万円(同2.0%増)、第3四半期純利益は6億92百万円(同9.1%増)となりました。

当第3四半期の売上高に占める新商品売上高構成比率は30.0%となりました。引き続き食品総合ラボラトリーを中核に、グループ総力を挙げて顧客志向及びマーケットインに基づいた新商品開発に取り組んでまいります。

〔財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期末の連結総資産は259億64百万円と前年同期比50百万円増加いたしました。その主な要因は、資産の部ではたな卸資産が増加、負債の部では長期・短期借入金と社債が減少、及び資本の部が増加したこと等によるものです。なお、アルパイン円貨建転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により資本金・資本剰余金がそれぞれ前年同期比1億18百万円増加しております。株主資本は前年同期比7.8%増加した結果、株主資本比率は49.9%となっております。

なお、当社グループは、当期より「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

当第3四半期のキャッシュ・フローは次のとおりであります。

営業活動に使用された資金は4億81百万円(前年同期比17億58百万円減)となりました。主に、役員退職慰労引当金が前年同期比6億71百万円減少、売上債権・たな卸資産・仕入債務等運転資本が前年同期比5億2百万円減少、法人税等の支払額が前年同期比3億43百万円増加したことによります。

投資活動に使用された資金は39百万円(前年同期比3億32百万円減)となりました。当第3四半期には多額の投資活動はおこなっておりません。

財務活動に使用された資金は2億62百万円(前年同期比9億49百万円減)となりました。当第3四半期には長期・短期借入金を1億24百万円返済し、配当金1億37百万円の支払いをおこなっております。

以上の結果、現金及び現金同等物は、3億9百万円(前年同期比2億12百万円減)

となりました。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当期の業績見通しにつきましては、以下の諸施策により当初計画通りの達成を目指してまいります。

販売面は、売上好調な「茎わかめ」「梅製品」等の拡販と、畜肉・酪農の有望カテゴリーでは「チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈」「贅沢粗挽きサラミ」「濃厚チーズ鱈」等、品質を重視した高付加価値商品の更なる拡販に注力してまいります。また今後「価格訴求」「価値訴求」の二方面に対応し競争力のある新商品を続々投入してまいります。「チルドおつまみ」については、やわらかでなめらかな食感が特長の「チルドならではのソフト&クリーミーチーズたら」の拡販に努めるとともに、更なるラインナップの強化を図ってまいります。

利益面は、原材料高の影響を受け苦戦を強いられておりますが、原料調達において中国生産の継続と調達のグローバル化の更なる推進、生産においてアイテムカットによる生産性向上と製造経費削減、営業において高粗利商品の拡販、全社にわたるローコストオペレーションによる販管費削減に努め、利益率の更なる改善を図ってまいります。

なお、期初に公表（平成17年5月11日）の通期業績予想に変更はございません。

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	31,300	1,200	650

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期） 46円70銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

〔添付資料〕

1.(1) 要約連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	期 別 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
			金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金	1,054,029	1,139,268	85,239	7.5	1,541,222
2. 受取手形及び売掛金	6,532,776	6,288,239	244,536	3.9	4,340,462
3. たな卸資産	4,915,934	4,061,964	853,969	21.0	4,320,022
4. その他	381,386	722,910	341,524	47.2	628,383
流動資産合計	12,884,126	12,212,384	671,742	5.5	10,830,091
固定資産					
1. 有形固定資産	11,468,220	11,941,311	473,090	4.0	11,640,637
2. 無形固定資産	125,506	121,368	4,138	3.4	132,672
3. 投資その他の資産	1,486,331	1,638,356	152,025	9.3	1,284,812
固定資産合計	13,080,057	13,701,035	620,977	4.5	13,058,121
資産合計	25,964,184	25,913,420	50,764	0.2	23,888,213
(負債の部)					
流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	4,791,435	3,794,489	996,945	26.3	2,569,328
2. 短期借入金	3,620,596	3,787,518	166,921	4.4	2,978,000
3. 一年以内に返済予定の 長期借入金	214,128	441,518	227,390	51.5	417,708
4. 一年以上以内に償還予定の 社債		100,000	100,000		
5. 未払法人税等	281,894	356,474	74,579	20.9	373,650
6. その他	1,157,526	1,460,837	303,311	20.8	1,465,610
流動負債合計	10,065,580	9,940,838	124,742	1.3	7,804,297
固定負債					
1. 新株予約権付社債	1,211,000	1,447,000	236,000	16.3	1,211,000
2. 長期借入金	979,699	1,131,627	151,928	13.4	1,131,723
3. その他	630,932	1,212,948	582,015	48.0	1,304,527
固定負債合計	2,821,631	3,791,575	969,943	25.6	3,647,250
負債合計	12,887,212	13,732,413	845,201	6.2	11,451,548
(少数株主持分)					
少数株主持分	125,895	168,480	42,584	25.3	162,007
(資本の部)					
資本金	1,369,625	1,251,625	118,000	9.4	1,369,625
資本剰余金	1,685,435	1,567,435	118,000	7.5	1,685,435
利益剰余金	9,711,336	9,141,137	570,199	6.2	9,175,844
その他有価証券評価差額金	187,137	53,725	133,412	248.3	45,778
自己株式	2,458	1,397	1,061	75.9	2,026
資本合計	12,951,076	12,012,525	938,550	7.8	12,274,657
負債、少数株主持分及び資本合計	25,964,184	25,913,420	50,764	0.2	23,888,213

(2) 要約連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	期 別	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高		24,338,652	23,929,296	409,355	1.7	30,805,230
売上原価		16,454,406	15,973,475	480,930	3.0	20,673,649
売上総利益		7,884,246	7,955,821	71,574	0.9	10,131,580
販売費及び一般管理費		6,707,402	6,770,571	63,169	0.9	9,069,130
営業利益		1,176,844	1,185,249	8,405	0.7	1,062,450
営業外収益						
1. 受 取 賃 貸 料		35,312	41,163	5,851		49,793
2. そ の 他		69,049	40,564	28,485		56,687
営業外収益合計		104,361	81,728	22,633	27.7	106,480
営業外費用						
1. 支 払 利 息		33,074	41,702	8,628		55,117
2. 賃 貸 原 価		20,371	21,248	876		27,127
3. そ の 他		618	398	219		1,803
営業外費用合計		54,064	63,350	9,285	14.7	84,048
経常利益		1,227,141	1,203,627	23,513	2.0	1,084,881
特別利益						
1. 地 域 雇 用 奨 励 金		3,631		3,631		5,000
2. 企 業 立 地 助 成 金		30,266		30,266		
3. そ の 他		64		64		558,992
特別利益合計		33,961		33,961		563,992
特別損失						
1. 固 定 資 産 除 却 損		1,062	325	2,609		1,651
2. 関 係 会 社 整 理 損 失		2,609		9,929		
3. 自 主 回 収 関 連 損 失		9,929		736		
4. そ の 他						439,779
特別損失合計		13,601	325	13,275	4,072.3	441,431
税金等調整前第3四半期 (当期)純利益		1,247,501	1,203,301	44,199	3.7	1,207,442
調整後法人税等		551,364	558,031	6,667		533,938
少数株主利益		3,285	10,483	7,197		4,010
第3四半期(当期)純利益		692,852	634,786	58,065	9.1	669,494

(3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参 考) 平成17年3月期
		金 額	金 額	金 額
．営業活動によるキャッシュ・フロー				
1．税金等調整前第3四半期 (当期)純利益		1,247,501	1,203,301	1,207,442
2．減価償却費		447,002	499,490	673,592
3．役員退職慰労引当金の減少額		778,813	107,297	22,090
4．関係会社整理損失引当金の増減額		50,000		50,000
5．受取利息及び受取配当金		8,394	7,304	7,343
6．支払利息		33,074	41,702	55,117
7．売上債権の増減額		2,209,911	1,811,262	141,095
8．たな卸資産の増減額		616,389	859,028	721,295
9．仕入債務の増減額		2,175,665	804,326	284,558
10．未払消費税等の増減額		49,271	17,299	26,977
11．役員賞与の支払額		8,225	7,700	7,700
12．その他		18,958	134,689	424,477
小 計		201,197	1,626,276	2,075,397
13．利息及び配当金の受取額		8,417	7,332	7,349
14．利息の支払額		30,745	39,422	53,928
15．役員保険の受取額				903,192
16．社債費用の支払額				21,904
17．法人税等の支払額		660,679	317,392	317,392
営業活動によるキャッシュ・フロー		481,809	1,276,793	2,592,713
．投資活動によるキャッシュ・フロー				
1．有形固定資産の取得による支出		129,125	365,886	413,226
2．有形固定資産の売却による収入		34,730		31,110
3．投資有価証券の取得による支出		22,102	21,720	28,204
4．役員保険の解約による収入				61,924
5．連結範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出		9,552		
6．その他		86,584	15,721	15,179
投資活動によるキャッシュ・フロー		39,464	371,885	363,576
．財務活動によるキャッシュ・フロー				
1．短期借入金の増減額		231,000	721,000	1,347,000
2．長期借入金の減少額		355,604	356,834	380,548
3．社債の償還による支出				100,000
4．親会社による配当金の支払額		136,238	132,335	135,749
5．少数株主への配当金の支払額		917	1,692	1,692
6．その他		431	219	848
財務活動によるキャッシュ・フロー		262,191	1,212,081	1,965,838
．現金及び現金同等物の増減額				
．現金及び現金同等物期首残高		783,465	307,173	263,298
．現金及び現金同等物第3四半期末 (期末)残高		1,092,893	829,594	829,594
．現金及び現金同等物第3四半期末 (期末)残高		309,427	522,421	1,092,893

2. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

（法人税等の計上基準）

法定実効税率を基礎として実際の税負担額を試算のうえ、調整後法人税等として計上しております。

3. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社及び連結子会社は、主に食品加工品事業を主な事業内容としており、当第3四半期における当該事業区分の連結売上高及び営業利益は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

4. 販売の状況

販売実績

（単位：千円、端数切捨て）

期 別 区 分	当四半期累計 (平成18年3月期第3四半期)		前年同四半期累計 (平成17年3月期第3四半期)		前連結会計年度 (平成17年3月期)
	金 額	前年同 四半期比	金 額	前年同 四半期比	金 額
水産加工製品	14,205,975	0.0	14,204,312	6.7	18,189,577
畜肉加工製品	3,670,878	3.2	3,557,514	5.5	4,542,472
酪農加工製品	2,391,271	24.8	1,915,804	9.5	2,634,483
農産加工製品	2,092,800	8.3	2,281,530	3.3	2,897,136
惣菜製品 他	1,977,726	0.4	1,970,134	6.6	2,541,559
合 計	24,338,652	1.7	23,929,296	4.0	30,805,230

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

5. その他

該当事項はありません。